

Ⅲ 救急・救助

第1 救急活動の概況

1 救急業務実施体制

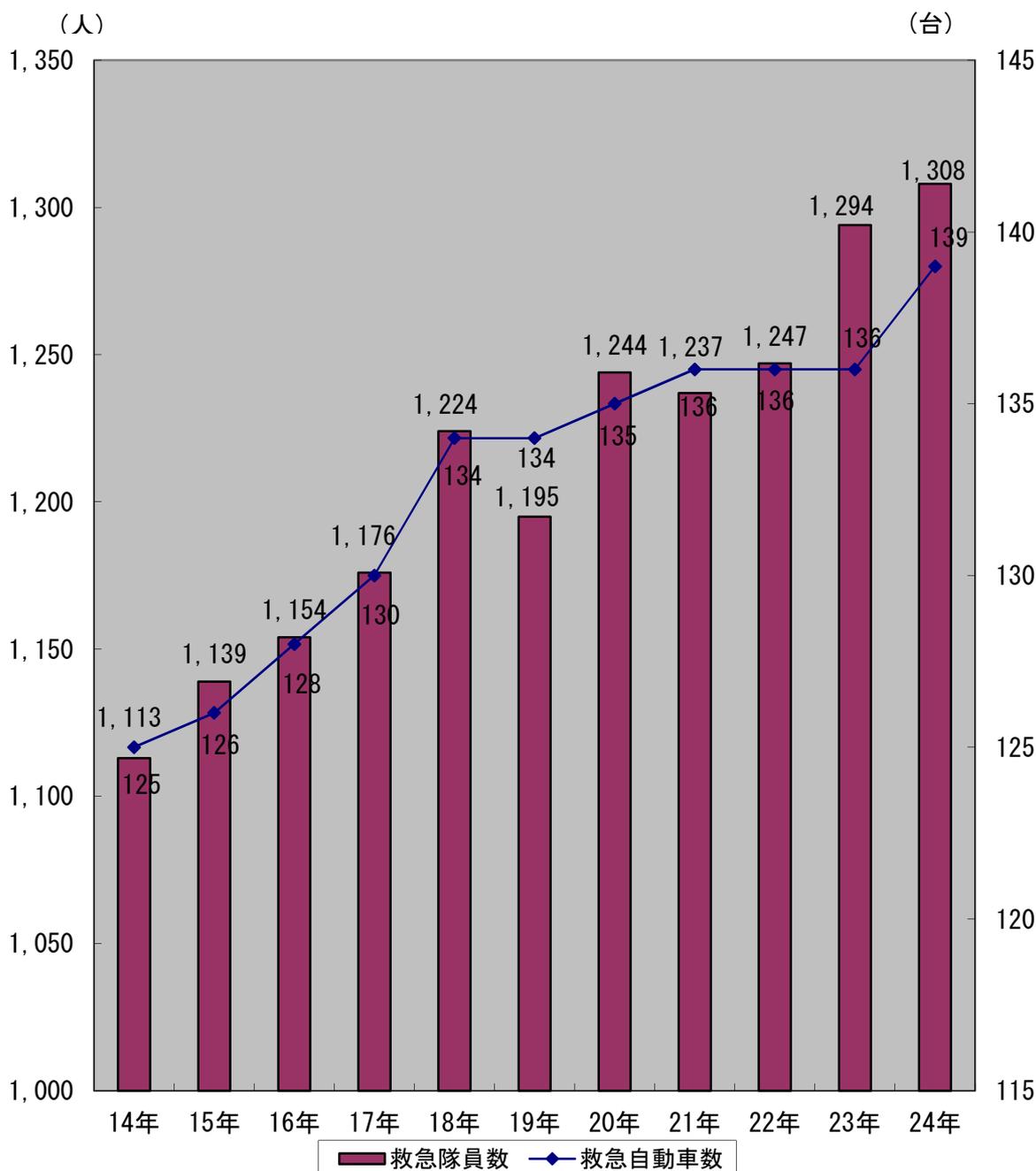
平成24年4月1日において救急業務を実施している市町村は41市町村で、県人口の99.9%がカバーされている。

救急自動車の保有台数は139台、救急隊員は1,308人（専任328人、兼任980人）で、前年に比べ救急隊員は14人増加している。また、救急告示医療機関は91機関、その他医療機関は1,567機関となっている。

平成3年8月にプレホスピタル・ケア充実の一環として、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

平成24年4月1日現在、県内全消防本部で救急救命士を運用（一部運用を含む）しており、資格者合計424名のうち392名が救急業務に従事している。

図-1 平成13年以降の救急自動車及び救急隊員数の推移 (各年4月1日現在)



2 救急業務実施状況

(1) 概要

平成23年中における救急出場件数は73,069件、搬送人員は68,014人で、いずれも過去最多となった。

また、これを昨年と比べると救急出場件数は3,518件（5.1%）の増加、搬送人員は3,210人（5.0%）の増加となっている。

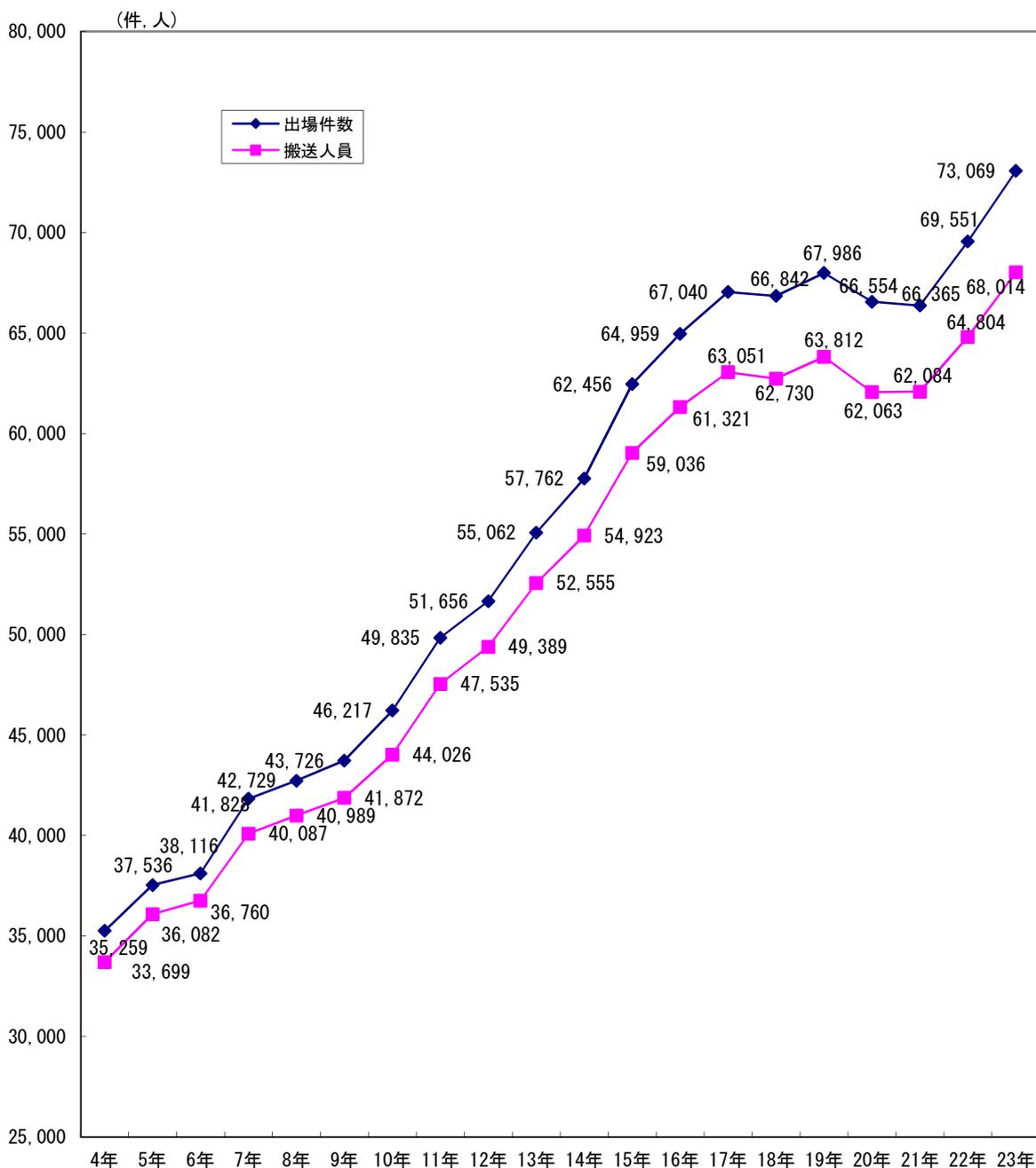
これは、1日平均200.2件（前年190.6件）、約7.2分に1回の割合で救急隊が出場し、また1日平均186.3人（前年177.5人）、約7.7分に1人、約25人に1人の割合で搬送されている。

事故種別救急出場件数は、前年と同じく1位が急病で37,341件（全体の56.3%）、次いで一般負傷8,402件（同12.7%）、交通事故が6,378件（同9.6%）となっている。

なお、搬送人員については、救急出場件数と同様、1位が急病で39,085人（全体の57.5%）、次いで一般負傷が8,869人（同13.0%）、交通事故が6,493人（同9.5%）となり、上位3位までで全体の80.0%を占めている。

平成4年からの県内救急活動の推移は下図のとおりであり、これまで増加の一途をたどっていた搬送人員・出場件数は、平成17年からほぼ横ばいとなっていたが、平成22年から再び増加に転じ、これまでの過去最多となった。

図-2 平成4年以降の救急出動件数、搬送人員の推移



(2) 事故種別、傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

表-1 事故種別出場件数及び搬送人員の状況

(単位：件，人，%)

区分	計	構成比	急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比	
平成23年	出場件数	73,069	100.0	42,448	58.1	6,375	8.7	9,455	12.9	14,791	20.2
	搬送人員	68,014	100.0	39,085	57.5	6,485	9.5	8,869	13.0	13,575	20.0
平成22年	出場件数	69,551	100.0	39,829	57.3	6,334	9.1	8,983	12.9	14,405	20.7
	搬送人員	64,804	100.0	36,681	56.6	6,593	10.2	8,382	12.9	13,148	20.3
増減	出場件数	3,518	—	2,619	—	41	—	472	—	386	—
	搬送人員	3,210	—	2,404	—	△ 108	—	487	—	427	—

(注) その他は、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他)を示す。

ア 年齢別搬送人員

搬送人員の年齢別事故種別をみると、高齢者、成人、乳幼児では、急病が半数を超える高い率を占めており、少年では交通事故が比較的高い比率を占めている。

表-2 年齢別搬送人員の状況

(単位：人，%)

区分	計	構成比	急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比
新生児	151	100.0	17	11.3	1	0.7	6	4.0	127	84.1
乳幼児	2,630	100.0	1,590	60.5	187	7.1	543	20.6	310	11.8
少年	2,407	100.0	849	35.3	794	33.0	269	11.2	495	20.6
成人	22,906	100.0	12,422	54.2	3,886	17.0	2,113	9.2	4,485	19.6
高齢者	39,920	100.0	24,207	60.6	1,617	4.1	5,938	14.9	8,158	20.4
計	68,014	100.0	39,085	57.5	6,485	9.5	8,869	13.0	13,575	20.0

(注) 新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

イ 傷病程度別搬送人員

平成23年中における搬送人員は68,014人であるが、これを傷病程度別にみると、軽症、中等症の両者で全体の84.3%を占めている。

表-3 傷病程度別搬送人員の状況（事故種別）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他	
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比		
火災	93	100.0			13	14.0	32	34.4	48	51.6	
自然災害	7	100.0	2	28.6	1	14.3	2	28.6	2	28.6	
水難	46	100.0	7	15.2	12	26.1	12	26.1	15	32.6	
交通事故	6,485	100.0	37	0.6	382	5.9	1,735	26.8	4,328	66.7	3
労働災害	472	100.0	4	0.8	92	19.5	212	44.9	164	34.7	
運動競技	474	100.0			10	2.1	145	30.6	319	67.3	
一般負傷	8,869	100.0	53	0.6	1,192	13.4	3,615	40.8	3,999	45.1	10
加害	268	100.0	1	0.4	8	3.0	73	27.2	186	69.4	
自損行為	654	100.0	44	6.7	133	20.3	273	41.7	204	31.2	
急病	39,085	100.0	526	1.3	4,146	10.6	19,363	49.5	15,031	38.5	19
その他	11,561	100.0	8	0.1	3,898	33.7	7,128	61.7	432	3.7	95
計	68,014	100.0	682	1.0	9,887	14.5	32,590	47.9	24,728	36.4	127

※ 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの
 重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

また、年齢別にみると、新生児、高齢者の場合は中等症の割合が高いのに対し、乳幼児、少年、成人の場合は、軽症の比率が高くなっている。

表-4 傷病程度別搬送人員の状況（年齢別区分）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他	
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比		
新生児	151	100.0	1	0.7	32	21.2	96	63.6	19	12.6	3
乳幼児	2,630	100.0	3	0.1	96	3.7	647	24.6	1,874	71.3	10
少年	2,407	100.0			114	4.7	654	27.2	1,636	68.0	3
成人	22,906	100.0	148	0.6	2,297	10.0	9,533	41.6	10,889	47.5	39
高齢者	39,920	100.0	530	1.3	7,348	18.4	21,660	54.3	10,310	25.8	72
計	68,014	100.0	682	1.0	9,887	14.5	32,590	47.9	24,728	36.4	127

- (3) 現場到着所要時間及び収容所要時間の状況
 平成23年中の救急出場件数69,551件について現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると最も多いのは、5分以上～10分未満の39,114件で全体の53.5%を占めている。

表-5 現場到着時間別出場件数

区分	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着平均 所要時間	
							県	全国
急病	42,448	1,201	5,289	22,971	12,045	942	8.3分	—
交通事故	6,375	204	885	3,440	1,689	157	8.2分	—
一般負傷	9,455	276	1,219	5,046	2,660	254	8.4分	—
その他	14,791	793	3,570	7,657	2,543	228	6.9分	—
計	73,069	2,474	10,963	39,114	18,937	1,581	8.0分	8.2分
構成比	100.0%	3.4%	15.0%	53.5%	25.9%	2.2%	—	—

- 平成23年中の搬送人員68,014人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると搬送人員のうち37,068人（54.5%）が収容に30分以上要している。

表-6 収容所要時間搬送人員

区分	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	収容平均 所要時間	
								県	全国
急病	39,085	46	4,064	13,314	19,612	1,996	53	34.0分	—
交通事故	6,485	7	717	2,207	3,196	343	15	34.1分	—
一般負傷	8,869	17	904	2,795	4,607	529	17	34.8分	—
その他	13,575	24	2,797	4,054	5,170	1,471	59	35.1分	—
計	68,014	94	8,482	22,370	32,585	4,339	144	34.3分	38.1分
構成比	100.0%	0.1%	12.5%	32.9%	47.9%	6.4%	0.2%	—	—

(4) 転送の状況

搬送人員68,014人のうち99.3%は、転送なしで収容されているが、0.7%（483人）にあたる人は転送されている。

そのうち、転送回数1回の者が転送者全体の99.2%を占めている。

表-7 転送回数別搬送人員の状況

区分	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
転送なし	67,531	38,779	6,441	8,783	13,528	
転送	1回	479	305	41	86	47
	2回	4	1	3		
	3回					
	4回					
	5回以上					
	小計 (A)	483	306	44	86	47
計 (B)	68,014	39,085	6,485	8,869	13,575	
転送率 (A)/(B)×100	0.7	0.8	0.7	1.0	0.3	

転送理由についてみると、救急告示医療機関、非告示医療機関ともに処置困難が多く、次いで専門外、ベッド満床の順になっている。

表-8 医療機関転送理由の状況

(単位：件，%)

区分	合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
救急告示	構成比	100.0	2.5	34.2	1.3		51.3	10.8
		158	4	54	2		81	17
非告示	構成比	100.0	1.5	25.0	0.3		62.0	11.1
		324	5	81	1		201	36
計	構成比	100.0	1.9	28.0	0.6		58.5	11.0
		482	9	135	3		282	53

(5) 救急隊員の行った応急処置の状況

平成23年中に転送された人員のうち、救急隊員によって応急処置された人の事故種別、処置項目状況をみると、急病においては、血中酸素飽和度の測定が最も多く、次いで血圧測定が多い。

また、交通事故、一般負傷においても、血中酸素飽和度の測定・血圧測定の順で処置が多くなっている。

表-9 救急隊員の行った応急処置の状況

(単位:人)

処置項目	事故種別	計	急病	交通事故	一般負傷	その他				
	応急処置対象 搬送人員									
		66,522	38,846	6,353	8,725	12,598				
止	血	1,799	180	431	978	210				
固	定	4,976	158	3,024	1,291	503				
人	工	呼	吸	378	250	12	37	79		
心	マ	ッ	サ	ー	ジ	101	67	2	13	19
心	肺	蘇	生	1,700	1,281	61	175	183		
酸	素	吸	入	16,160	10,333	617	750	4,460		
気	道	確	保	2,542	1,855	90	255	342		
(再掲)気道確保のうち気管挿管		198	130		51	17				
保	温	2,804	1,827	149	375	453				
被	覆	3,846	121	1,357	1,972	396				
在	宅	療	法	継	続	182	152	1	11	18
ショックパンツによる血圧保持		1				1				
除	細	動	218	188	4	12	14			
静脈路確保(輸液)		351	266	10	39	36				
薬	剤	投	与	90	71	2	10	7		
血	圧	測	定	60,747	36,114	6,013	7,971	10,649		
聴診器による心音・呼吸音等の聴取		9,513	6,811	938	867	897				
血中酸素飽和度の測定		64,182	37,538	6,179	8,385	12,080				
心	電	図	19,556	15,246	644	1,014	2,652			
その他の応急処置		23,293	16,991	1,125	2,346	2,831				
計(再掲の気管挿管を除く)		212,439	129,449	20,659	26,501	35,830				

(注) 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの処置項目の計の数は一致しない。

(6) 高速道路における救急業務の状況

高速自動車国道における救急業務実施体制は、平成24年4月1日現在、九州縦貫自動車道のうち鹿児島インターチェンジから宮崎インターチェンジ並びにえびのインターチェンジから人吉インターチェンジまでを沿線2市2組合で、相互応援協定を締結し、上下線方式により、第1次出場をインターチェンジ所在の常備消防が担当する体制を整えている。東九州自動車道31.7kmは沿線1市1組合が担当している。

県内においては、上り線が鹿児島インターチェンジから宮崎県えびのインターチェンジまでの69.8kmについて、第1次出場を担当し、救急業務を行っている。

なお、平成23年中の本県における救急活動は、下表のとおりである。

高速自動車道における救急活動状況

表-10 九州自動車道

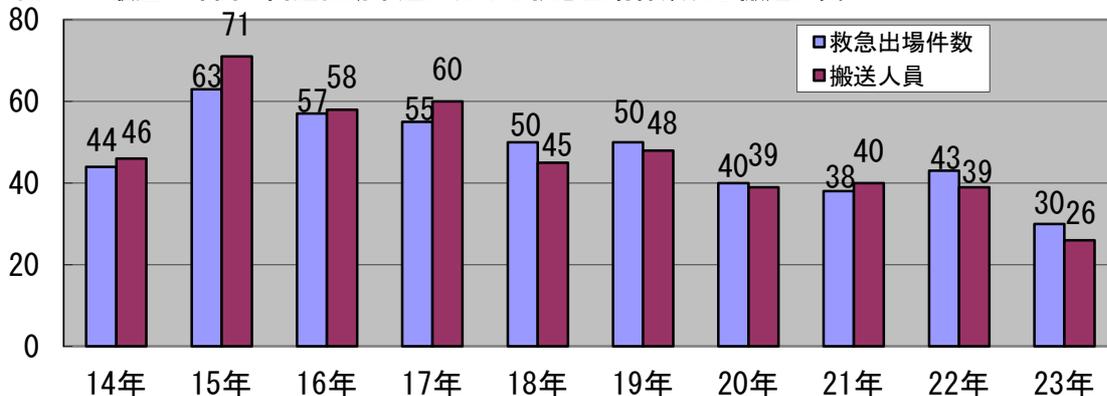
区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
鹿児島市消防局	鹿児島	1	1	24	昭和63.3.29
	鹿児島北	2	2	3	昭和52.11.15
	薩摩吉田	7	5		昭和48.12.13
始良市消防本部	始良	4	4	1	昭和48.12.13
	加治木	10	7	1	昭和48.12.13
霧島市消防局	溝辺鹿児島空港	2	2		平成17.11.7
	横川	2	4		平成17.11.7
伊佐湧水消防組合	栗野	2	1		昭和55.3.22
計	8 I C	30	26	29	

(注) 医療機関は、インターチェンジから半径5キロメートルの範囲にあるものである。

表-11 東九州自動車道

区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
霧島市消防局	国分	1	1	3	平成14.3.2
	隼人東	3	7	1	平成12.3.4
大隅曾於地区消防組合	末吉財部	1	1		平成14.5.9
計	3 I C	5	9	4	

図-3 最近10年間の高速自動車道における救急出場件数及び搬送人員



3 プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るために、平成3年8月に「救急隊員の行う応急処置等の基準」が改正され、これに伴い消防学校における新たな教育訓練（救急標準課程（平成16年4月1日より救急科に改称）及び救急Ⅱ課程）の修了者は、従来の応急処置に加えて9項目の処置を行うものとされ、救急救命士資格者は、医師の指示の下にさらに高度な応急処置（特定3項目）をも行うものとされた。

これに伴い、消防学校における救急科（救急標準課程）の修了者が計画的に養成されるとともに、救急救命士についても県内全消防本部において運用され、資格者、高規格救急自動車のいずれも着実に増加している。また、救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため、平成15年2月に消防機関、救急医療機関、医師会などにより構成される鹿児島県救急業務高度化協議会を、同年3月に6地域（薩摩、北薩、始良伊佐、大隅、熊毛、大島）に地域救急業務高度化協議会を設置し、本県における救急業務の高度化について協議を行い、平成15年4月から包括的除細動を実施し、平成16年7月から認められた医師の具体的指示下での気管挿管についても救急業務高度化協議会で承認された病院で、体制の整った消防本部から順次病院実習を実施し、247名が認定を受け18消防本部で実施が可能となっている。また、平成18年4月から認められた医師の具体的指示下での薬剤投与についても317名が認定・登録を受け、19消防本部で実施が可能となっている。

さらに、救急現場近くの一般市民による応急手当を促進するため、平成22年12月末までに応急手当指導員2,239名、応急手当普及員464名が県内消防本部により養成され、住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。なお、平成16年12月に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正により、非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が可能となったことから、AEDの内容を含めた救命講習の実施率が高くなっている。

平成23年中の住民に対する応急手当講習会実施状況

普通救命講習	958回	18,189名	受講
上級救命講習	19回	285名	受講
その他の講習	1,681回	60,753名	受講
計	2,658回	79,227名	受講

表-12 救急業務高度化の

各年4月1日現在

区分	平成23年	平成22年	対前年比較	
			増減数	増減率
救急救命士運用消防本部数	19	19		1.00
救急隊員数①	1,308	1,294	14	1.01
うち救急救命士有資格者②	392	380	12	1.03
(②/①:%)	(30.0%)	(29.4%)		
(②のうち気管挿管認定者)	222	205	17	1.08
(②のうち薬剤投与認定者)	301	216	85	1.39
うち救急科（救急標準課程）・救急Ⅱ課程修了者③	883	865	18	1.02
(③/①:%)	(67.5%)	(66.8%)		
救急自動車数④	139	136	3	1.02
うち高規格車⑤	76	70	6	1.09
(⑤/④:%)	(54.7%)	(51.5%)		
救急隊数⑥	106	106		1.00
うち救急救命士運用隊⑦	93	88	5	1.06
(⑦/⑥:%)	(87.7%)	(83.0%)		

※1 救急救命士については、上記392名の外、救急自動車に同乗しない資格者が33名いる。（有資格者は、425名）

表-13 救急業務実施体制等の状況（消防本部設置市町村）

区分 消防本部別	人口 (人) H22年 国調	面積 (km ²) H22. 10. 1 国地院	救 急 体 制										
			救急車総数			救急 隊数	救急 救命 士運 用隊 数	救急隊員数					
			うち 高規 格	うち 予備 車	計			うち資格者・修了者			専任	兼任	
								救急 救命 士	標準 課程	救急 Ⅱ課 程			
鹿児島市消防局	605,846	547.06	20	13	5	15	11	140	52	60	24	78	62
出水市消防本部	55,621	330.06	4	3	1	3	3	49	17	18	6	16	33
垂水市消防本部	17,248	162.03	3	1	1	2	1	33	8	21	4		33
薩摩川内市消防局	99,589	683.50	10	3	3	7	5	79	28	35	13	28	51
日置市消防本部	50,822	253.06	5	3	2	3	3	49	14	22	7	14	35
霧島市消防局	127,487	603.68	8	5		8	8	99	29	59	10	29	70
いちき串木野市 消防本部	31,144	112.04	3	2	1	2	2	36	10	16	8		36
始良市消防本部	74,809	231.32	5	3	2	3	3	58	13	33	10	38	20
さつま町消防本部	24,109	303.43	3	3	1	2	2	28	10	12	6	8	20
指宿地区消防組合	57,313	※2 149.01	5	3		5	5	64	19	42	3		64
南薩地区消防組合	88,490	※3 716.10	11	4	1	10	10	135	33	75	27	33	102
阿久根地区消防組合	34,259	250.53	6	3	2	4	2	54	11	27	16		54
伊佐湧水消防組合	40,899	536.69	6	3	1	5	3	51	13	23	15	13	38
大隅曾於地区消防組合	86,470	781.22	9	7	2	7	7	58	27	26	5	39	19
大隅肝属地区消防組合	146,834	1,160.93	10	5	1	9	9	85	33	38	8	24	61
沖永良部与論地区 広域事務組合消防組合	19,247	114.17	4	1	2	2	2	37	9	13	15		37
徳之島地区消防組合	25,587	247.92	4	1	1	3	3	44	8	16	20		44
熊毛地区消防組合	45,454	994.96	10	6	4	6	6	90	30	23	37		90
大島地区消防組合	73,939	878.30	13	7	3	10	8	119	28	50	40	8	111
計	1,705,167	9,056.01	139	76	33	106	93	1,308	※1 392	609	274	328	980

※1 救急救命士については、上記392名の外、救急自動車に同乗しない資格者が33名いる。

（有資格者は、425名）

※2 面積について、指宿地区消防組合には南九州市旧顛娃町分を含んでいない。

※3 南薩地区消防組合には南九州市旧顛娃町分を含んだ面積である。

[現場到着平均所要時間及び収容平均所要時間は平成23年中、左記以外は平成24年4月1日現在]

医 療 機 関 数												人口10万人当たりの救急医療機関数	現場到着平均所要時間(分)	収容平均所要時間(分)
合計	救急告示医療機関					その他の医療機関								
	国公立	公的	私 的		計	国公立	公的	私 的		計				
病 院			診療所	病 院				診療所						
632	3	3	26	3	35	15	6	67	509	597	5.8	7.7	29.7	
40	2				2	2		4	32	38	3.6	7.7	34.9	
10	1		1		2			1	7	8	11.6	5.4	33.3	
131		1	3		4	16	4	12	95	127	4.0	8.7	33.8	
43			1		1	1		7	34	42	2.0	8.3	37.2	
117	1		4	1	6	1		8	102	111	4.7	8.7	39.7	
30								8	22	30		5.2	29.3	
104			2		2	3		10	89	102	2.7	6.5	31.5	
20								6	14	20		8.9	40.4	
47	1		2	1	4			10	33	43	7.0	6.1	32.7	
89	3		4		7	3		13	66	82	7.9	6.3	34.3	
21			2		2	2		1	16	19	5.8	8.5	39.7	
31	1		2		3			4	24	28	7.3	7.4	35.6	
66			1	1	2			9	55	64	2.3	9.5	41.4	
140	2		5	2	9	1		14	116	131	6.1	9.8	38.5	
12			2		2				10	10	10.4	7.5	26.9	
13			2		2	1		1	9	11	7.8	8.8	34.9	
23	1		2		3	4		2	14	20	6.6	8.4	37.3	
89	1		4		5	7		5	72	84	6.8	9.4	39.1	
1,658	16	4	63	8	91	56	10	182	1,319	1,567	5.3	8.0	34.3	

表-14 消防本部救急出場件数及び搬送人員

区分	事故種別救急出場件										
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病
消防本部名											
鹿児島市消防局	24,132	128		11	2,279	132	155	3,081	125	371	14,074
出水市消防本部	2,090	1		2	183	13	16	266	6	30	1,243
垂水市消防本部	890			1	88	7	1	96		8	513
薩摩川内市消防局	3,959	23		3	326	17	30	497	12	42	2,306
日置市消防本部	2,124	1		5	171	13	30	293	7	18	1,218
霧島市消防本部	5,272	12	2	6	663	29	31	655	21	71	2,968
いちき串木野市消防本部	1,206			2	104	9	7	174	4	11	614
始良市消防本部	3,059	2		1	281	26	14	400	14	45	1,742
さつま町消防本部	1,114	1	1		76	10	14	145	3	16	575
指宿地区消防組合	2,452	2		1	178	13	18	345	13	26	1,258
南薩地区消防組合	4,282	5			392	40	38	503	11	43	2,249
阿久根地区消防組合	2,013	1		6	129	20	5	267	4	11	1,206
伊佐湧水消防組合	1,825	2			149	9	5	244	4	22	938
大隅曾於地区消防組合	3,809	3		3	352	48	30	430	15	42	2,375
大隅肝属地区消防組合	6,332	12		1	624	45	29	739	28	76	3,634
沖永良部与論地区 広域事務組合	679	1		4	39	2	4	119	7	20	398
徳之島地区消防組合	1,673	5	3	3	60	10	9	274	12	14	1,174
熊毛地区消防組合	1,933	5	1	5	100	21	15	300	9	22	1,255
大島地区消防組合	4,225	5		18	181	25	20	627	17	50	2,708
計	73,069	209	7	72	6,375	489	471	9,455	312	938	42,448
時 間 区 分	0~2	3,389	13		1	177	2	399	55	71	2,377
	2~4	2,429	8		1	78	5	262	37	49	1,793
	4~6	2,494	11			143	10	241	18	45	1,853
	6~8	4,801	13		12	607	16	627	19	78	3,183
	8~10	8,803	16		7	840	86	1,281	8	68	4,787
	10~12	9,498	23	2	7	688	104	1,172	10	87	4,733
	12~14	8,294	17		8	670	64	1,040	11	87	4,165
	14~16	7,639	30		12	725	95	1,002	14	93	3,946
	16~18	7,622	26	2	12	887	69	1,112	17	114	3,912
	18~20	7,512	18	1	6	866	20	929	36	83	4,561
	20~22	6,138	19	2	2	446	13	830	38	89	4,075
	22~24	4,450	15		4	248	5	560	49	74	3,063

〔平成23年中〕

数				事故種別搬送人員											
その他				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
転院搬送	医師搬送	資輸 機材 等送	その他												
3,265	1		510	22,032	35		8	2,237	132	156	2,882	105	286	12,918	3,273
318	2		10	1,952	1		1	202	13	17	247	6	18	1,132	315
171			5	858				109	7	1	92		2	473	174
688			15	3,634	8		3	322	17	29	464	12	30	2,107	642
368				2,050	1		4	190	12	31	283	7	7	1,148	367
811			3	4,912	14	2	1	622	28	32	606	19	46	2,729	813
277	1		3	1,132			2	106	9	7	163	4	6	557	278
532			2	2,917	3			296	26	14	374	13	34	1,629	528
272			1	1,066	1	1		74	10	14	141	1	9	543	272
592			6	2,329	1			187	13	18	326	12	20	1,160	592
985			16	4,115	4			420	42	40	492	10	31	2,087	989
360			4	1,947	1		2	141	19	5	252	4	7	1,157	359
450			2	1,759	2			175	8	6	235	3	11	869	450
505			6	3,643	2		2	368	43	31	417	12	27	2,238	503
1,114	2	1	27	6,014	9		1	643	43	28	707	26	52	3,393	1,112
80	1		4	625	1		4	46	2	4	110	4	14	364	76
109				1,624	3	3	2	66	10	10	271	11	11	1,128	109
196	1	2	1	1,849	5	1	5	112	20	15	279	8	17	1,194	193
521			53	3,556	2		11	169	18	16	528	11	26	2,259	516
11,614	8	3	668	68,014	93	7	46	6,485	472	474	8,869	268	654	39,085	11,561
232			62	3,088	7		1	179	2		361	50	65	2,193	230
154			42	2,205	1		1	75	5	1	235	34	38	1,661	154
128			45	2,297	5			142	10		229	14	36	1,728	133
204	1		41	4,417	8		6	608	16		592	13	43	2,923	208
1,616	1		59	8,283	11		4	860	81	36	1,231	6	35	4,420	1,599
2,513	2		46	8,891	10	2	5	697	99	112	1,110	11	59	4,289	2,497
2,073		1	56	7,781	6		6	696	59	102	974	8	53	3,814	2,063
1,573	1		45	7,163	15		9	782	94	104	939	12	63	3,587	1,558
1,373	3		53	7,119	11	2	7	901	68	43	1,041	15	81	3,581	1,369
890		2	64	7,050	9	1	3	876	20	35	864	34	51	4,264	893
508			76	5,660	6	2	2	435	13	38	774	29	69	3,786	506
350			79	4,060	4		2	234	5	3	519	42	61	2,839	351

表-15 曜日別月別救急出場件数調

(平成23年中)

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他				計
												転院 搬送	医師 搬送	資機 材等 輸送	その 他	
曜 日 別	月	28		10	970	81	40	1,381	36	142	6,290	1,810		2	93	10,883
	火	25		8	962	77	28	1,202	35	128	5,787	1,805	3		98	10,158
	水	36	1	11	877	64	48	1,291	28	131	5,862	1,780			82	10,211
	木	26		11	883	76	34	1,262	38	133	5,822	1,707	3		86	10,081
	金	29	4	10	927	78	40	1,268	43	132	6,028	1,929			100	10,588
	土	31		9	908	74	106	1,506	56	141	6,300	1,546	1	1	106	10,785
	日	34	2	13	848	39	175	1,545	76	131	6,359	1,037	1		103	10,363
計		209	7	72	6,375	489	471	9,455	312	938	42,448	11,614	8	3	668	73,069
月 別	1月	19		8	521	44	17	937	27	88	4,517	1,092	2		60	7,332
	2月	16		2	434	39	28	734	15	69	3,311	953			47	5,648
	3月	19		1	515	37	21	740	23	80	3,710	1,003	1		50	6,200
	4月	21	1	4	563	28	34	750	26	68	3,360	967	2		56	5,880
	5月	22		9	496	38	54	755	31	99	3,260	919			61	5,744
	6月	16	2	10	453	40	52	736	27	80	3,186	934			48	5,584
	7月	13	1	12	574	43	66	802	23	80	3,711	937		3	57	6,322
	8月	15		14	599	49	39	813	38	81	3,693	959	2		72	6,374
	9月	18		4	506	42	53	741	26	88	3,153	933			42	5,606
	10月	12		1	608	46	50	801	27	84	3,257	971			57	5,914
	11月	13	3	5	506	46	32	743	27	58	3,322	855			56	5,666
	12月	25		2	600	37	25	903	22	63	3,968	1,091	1		62	6,799

第4 応急手当指導員等養成講習の状況

表-16

【指導員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成23年中修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	13	9			4	7	27
	応急手当指導員講習Ⅱ	18	18					2
	応急手当指導員講習Ⅲ							
	消防長認定者	14	8	6			2	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	18	16	2				
	計	63	51	8		4	9	29
前年中までの修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	440	381	13		46	11	114
	応急手当指導員講習Ⅱ	1,051	424	2	625			69
	応急手当指導員講習Ⅲ	6	1		2	1	2	
	消防長認定者	403	354	12		37	15	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	97	95			2		
	計	1,997	1,255	27	627	86	26	183
合計	2,060	1,306	35	627	90	35	212	

表-17

【普及員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成23年中修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	54	3		6		45	6
	応急手当普及員講習Ⅱ							
	消防長認定者	4	2	2				
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	58	5	2	6		45	6
前年中までの修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	235	32	28	28	3	144	40
	応急手当普及員講習Ⅱ							
	消防長認定者	60	27	8		8	17	7
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	295	59	36	28	11	161	47
合計	353	64	38	34	11	206	53	

第2 救助活動の概況

1 救助業務実施体制

平成24年4月1日現在、救助隊は34隊配置されており、そのうち5隊が特別救助隊で、1隊が高度救助隊である。

また、387人の救助隊員のうち44.4%にあたる172人が専任救助隊員である。

表-18 救助体制

(単位：隊、人)

区分 消防本部名	救助隊数			救助隊員数		
	専任救助隊	兼任救助隊	計	専任救助隊員	兼任救助隊員	計
鹿児島市消防局	3	3	3	42		42
	4	2	2	28		28
	5	1	1	14		14
出水市消防本部	3	1	1	8		8
	4					
	5					
垂水市消防本部	3		1		5	5
	4					
	5					
薩摩川内市消防局	3	1	1	10	10	20
	4	1	1	10		10
	5					
日置市消防本部	3		1		12	12
	4					
	5					
霧島市消防局	3		2		16	16
	4					
	5					
いちき串木野市消防本部	3		1		9	9
	4					
	5					
始良市消防本部	3	1	1	8		8
	4					
	5					
さつま町消防本部	3		1		15	15
	4					
	5					
指宿地区消防組合	3		1		10	10
	4					
	5					
南薩地区消防組合	3		2		30	30
	4					
	5					
阿久根地区消防組合	3		1		15	15
	4					
	5					
伊佐湧水消防組合	3		2		12	12
	4					
	5					
大隅曾於地区消防組合	3	2	2	16		16
	4	1	1	8		8
	5					
大隅肝属地区消防組合	3	1	2	10	30	40
	4	1	1	10		10
	5					
沖永良部与論地区広域事務組合	3		1		15	15
	4					
	5					
徳之島地区消防組合	3		1		18	18
	4					
	5					
熊毛地区消防組合	3		1		18	18
	4					
	5					
大島地区消防組合	3	1	1	8		8
	4					
	5					
県計	3	10	18	28	102	215
	4	5		5	56	56
	5	1		1	14	14

※ 省令3は省令第3条の規定による救助隊、省令4は省令4条の規定による救助隊（特別救助隊）、省令5は省令第5条の規定による救助隊（高度救助隊）

表-19 救助隊が搭乗する車両

区分 消防本部名	救 助 車	はしご車	屈 折 はしご車	ポンプ車	水 槽 付 ポンプ車	化 学 車	そ の 他	計
	鹿児島市消防局	3						
出水市消防本部	1	1						2
垂水市消防本部					1		1	2
薩摩川内市消防局	1				1			2
日置市消防本部	1							1
霧島市消防局	2	2						4
いちき串木野市 消防本部	1	1						2
始良市消防本部	1							1
三 島 村								
十 島 村								
さつま町消防本部	1							1
指宿地区消防組合	1	1			2			4
南薩地区消防組合	2	1	1					4
阿久根地区消防組合	1							1
伊佐湧水消防組合	2							2
大隅曾於地区消防組合	2	1			2		2	7
大隅肝属地区消防組合	1	1					1	3
沖永良部与論地区 広域事務組合	1							1
徳之島地区消防組合	1							1
熊毛地区消防組合	1							1
大島地区消防組合	1	1						2
県 計	24	9	1		6		4	44

2 救助業務実施状況

表-20 平成4年以降の救助業務実施状況の推移

(単位：件、人)

	出動件数	活動件数	救助人員
平成4年	1,028	297	350
平成5年	1,185	357	4,955
平成6年	1,221	307	358
平成7年	1,049	306	332
平成8年	1,126	330	344
平成9年	1,138	359	415
平成10年	1,107	405	440
平成11年	1,137	428	495
平成12年	1,093	500	583
平成13年	1,158	519	594
平成14年	1,188	505	613
平成15年	1,153	458	548
平成16年	1,320	491	570
平成17年	1,259	591	552
平成18年	757	452	664
平成19年	772	484	732
平成20年	716	462	527
平成21年	771	509	669
平成22年	713	480	629
平成23年	765	478	670

平成23年中における救助業務の実施状況は、表-20のとおりであり、救助出動件数765件、救助活動件数478件、救助人員670人となっている。

これを前年と比較すると出動件数は52件（7.3%）の増加、活動件数は2件（0.4%）の減少、救助人員は41人（6.5%）の増加となっている。

表-21-1 事故種別出動件数及び活動人員の状況

(単位：件，人)

区分	事故種別										計
	火災	交通事故	水難事故	風水自然災害等	機械による事故	建物等事故	ガス欠及び事故	破裂事故	その他の事故		
鹿児島市消防局	27	47	14		6	17	12		44	167	
出水市消防本部		13	4	2		1	1		6	27	
垂水市消防本部		6			1				3	10	
薩摩川内市消防局	1	33	2		1	4			8	49	
日置市消防本部		10	7		1				3	21	
霧島市消防局		43	5	1	3	1			9	62	
いちき串木野市消防本部		16	1						2	19	
始良市消防本部		42	1		2				43	88	
三島村											
十島村											
さつま町消防本部		6							2	8	
指宿地区消防組合		14	2		3	2			12	33	
南薩地区消防組合		42			2	1			11	56	
阿久根地区消防組合		7	6						4	17	
伊佐湧水消防組合		28			3				5	36	
大隅曾於地区消防組合		36	3		4				4	47	
大隅肝属地区消防組合	1	34	5		3	1			12	56	
沖永良部与論地区広域事務組合		2			1					3	
徳之島地区消防組合				1	2				2	5	
熊毛地区消防組合		8	6		2				11	27	
大島地区消防組合		12	9		2				11	34	
救助出動件数 計	29	399	65	4	36	27	13		192	765	
救助出動人員	専任救助隊員	228	630	133	5	63	107	25	353	1,544	
	兼任救助隊員	3	645	102	8	55	11	1	195	1,020	
	消防隊員	633	1,108	217	13	119	96	38	506	2,730	
	救急隊員	98	1,561	183	21	112	70	21	514	2,580	
	消防団員			19					37	56	
	計	962	3,944	654	47	349	284	85	1,605	7,930	

表-21-2 事故種別活動件数及び活動人員の状況

(単位：件，人)

事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等	自然災害等	機械による事故	建物等事故	ガス欠及び事故	破裂事故	その他の事故	計
消防本部名	災	故	故	害	害	る	に	故	故	故	
鹿児島市消防局	27	39	12			5	16	4		36	139
出水市消防本部		8	4	1			1			5	19
垂水市消防本部		6				1				3	10
薩摩川内市消防局	1	17	2				4			8	32
日置市消防本部		7	4								11
霧島市消防局		19	2	1		1	1			5	29
いちき串木野市消防本部		9	1							1	11
始良市消防本部		39				2				37	78
三島村											
十島村											
さつま町消防本部		3								1	4
指宿地区消防組合		10	1			2	2			12	27
南薩地区消防組合		16				2				7	25
阿久根地区消防組合		4	3							3	10
伊佐湧水消防組合		7				2				2	11
大隅曾於地区消防組合		12								2	14
大隅肝属地区消防組合	1	11	2			1	1			3	19
沖永良部与論地区広域事務組合		1				1					2
徳之島地区消防組合				1		2				2	5
熊毛地区消防組合		4	4			2				5	15
大島地区消防組合		3	7			2				5	17
救助活動件数 計	29	215	42	3	23	25	4			137	478
救助活動人員	専任救助隊員	180	302	97	2	25	94	16		206	922
	兼任救助隊員	3	286	51	8	23	9			97	477
	消防隊員	312	552	156	10	67	62	24		312	1,495
	救急隊員	49	717	114	15	69	42	6		323	1,335
	消防団員			19						17	36
	計	544	1,857	437	35	184	207	46		955	4,265

(注) 「救助活動件数」とは、救助出動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

表-21-3 事故種別救助人員の状況

(単位：人)

事故種別 消防本部名	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	機事 械 に よ る 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局	32	55	12		5	11	1		43	159
出水市消防本部		8	14	1		1			5	29
垂水市消防本部		48			7				19	74
薩摩川内市消防局	1	20	5			4			8	38
日置市消防本部		9	4							13
霧島市消防局		22	1		1				4	28
いちき串木野市 消防本部		12	1						1	14
始良市消防本部		59			2				38	99
三島村										
十島村										
さつま町消防本部		3							1	4
指宿地区消防組合		13	1		2	2			15	33
南薩地区消防組合		21			2				7	30
阿久根地区消防組合		9	3						3	15
伊佐湧水消防組合		10			2				4	16
大隅曾於地区消防組合		15							2	17
大隅肝属地区消防組合	1	12	1		1	1			3	19
冲永良部与論地区 広域事務組合		1			1					2
徳之島地区消防組合				3	2				2	7
熊毛地区消防組合		5	19		10				22	56
大島地区消防組合		3	7		2				5	17
救助人員 計	34	325	68	4	37	19	1		182	670

表-22 救助活動のための機械器具等の保有状況（救助隊保有分）

一般救助用器具	かぎ付きはしご	31	隊員保護用器具	耐電手袋	108
	三連はしご	30		耐電衣	26
	金属折りたたみはしご又はワイヤはしご	19		耐電ズボン	21
	空気式救助マット	23		耐電長靴	70
	救命索発射銃	36		防塵メガネ	106
	サバイバースリング又は救助用縛帯	81		携帯警報器	65
	平担架	15		防毒マスク	60
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	37	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	27	
	油圧スプレッダー	16	陽圧式化学防護服	40	
	可搬ウィンチ	32	耐熱服	18	
	マンホール救助器具	15	放射線防護服	63	
	救助用簡易起重機	2	特殊ヘルメット	7	
	マット型空気ジャッキ	34	除染用具	除染シャワー	1
	大型油圧スプレッダー	15	除染剤散布器	2	
切断用器具	救助用支柱器具	11	水難救助用器具	潜水器具	71
	チェーンブロック	7	救命胴衣	225	
	油圧切断機	20	水中投光器	19	
	エンジンカッター	31	救命浮環	86	
	ガス溶断機	20	浮標	21	
	チェーンソー	34	救命ボート	10	
	鉄線カッター	42	船外機	10	
破壊用器具	空気鋸	26	水中スクーター	1	
	大型油圧切断機	15	水中無線機	1	
	空気切断機	13	水中時計	6	
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	5	水中テレビカメラ	1	
	万能斧	68	山岳救助用具	登山器具	17
	ハンマー	36	バスケット型担架	34	
	携帯用コンクリート破壊器具	11	検用器具	簡易画像探索機	4
測定用器具	削岩機	16	画像探索機	7	
	ハンマドリル	13	高度救助器具	地中音響探知機	2
	生物剤検知器	2	熱画像直視装置	6	
	可燃性ガス測定器	20	夜間暗視装置	2	
	有毒ガス測定器	22	水中探査装置	1	
	酸素濃度測定器	15	地震警報器	1	
	放射線測定器	30	その他救助用器具	投光器	55
呼吸保護用器具	空気呼吸器	155	携帯投光器	43	
	空気補充用ボンベ	190	携帯拡声器	48	
	酸素呼吸器	26	携帯無線機	50	
	簡易呼吸器	9	応急処置用セット	22	
	防塵マスク	103	車両移動器具	11	
	送排風機	27	緩降機	26	
	エアラインマスク	2	ロープ登降機	32	
			救助用降下機	10	
			発電機	50	

第3 自衛隊災害派遣による急患搬送

離島における医療体制の実情により、現地では治療困難な患者で、一刻も早く専門病院での手当てが必要である者に対して、昭和36年から自衛隊に対し、災害派遣要請（航空機搬送）を実施している。

搬送機関・活動範囲

海上自衛隊第1航空群 鹿屋航空分遣隊（鹿屋市）
十島村以北

陸上自衛隊第15旅団 第15飛行隊（沖縄県那覇市）
奄美大島以南

1 自衛隊災害派遣（離島急患搬送）の状況

平成23年中における急患搬送出動件数は83件である。（図-3）

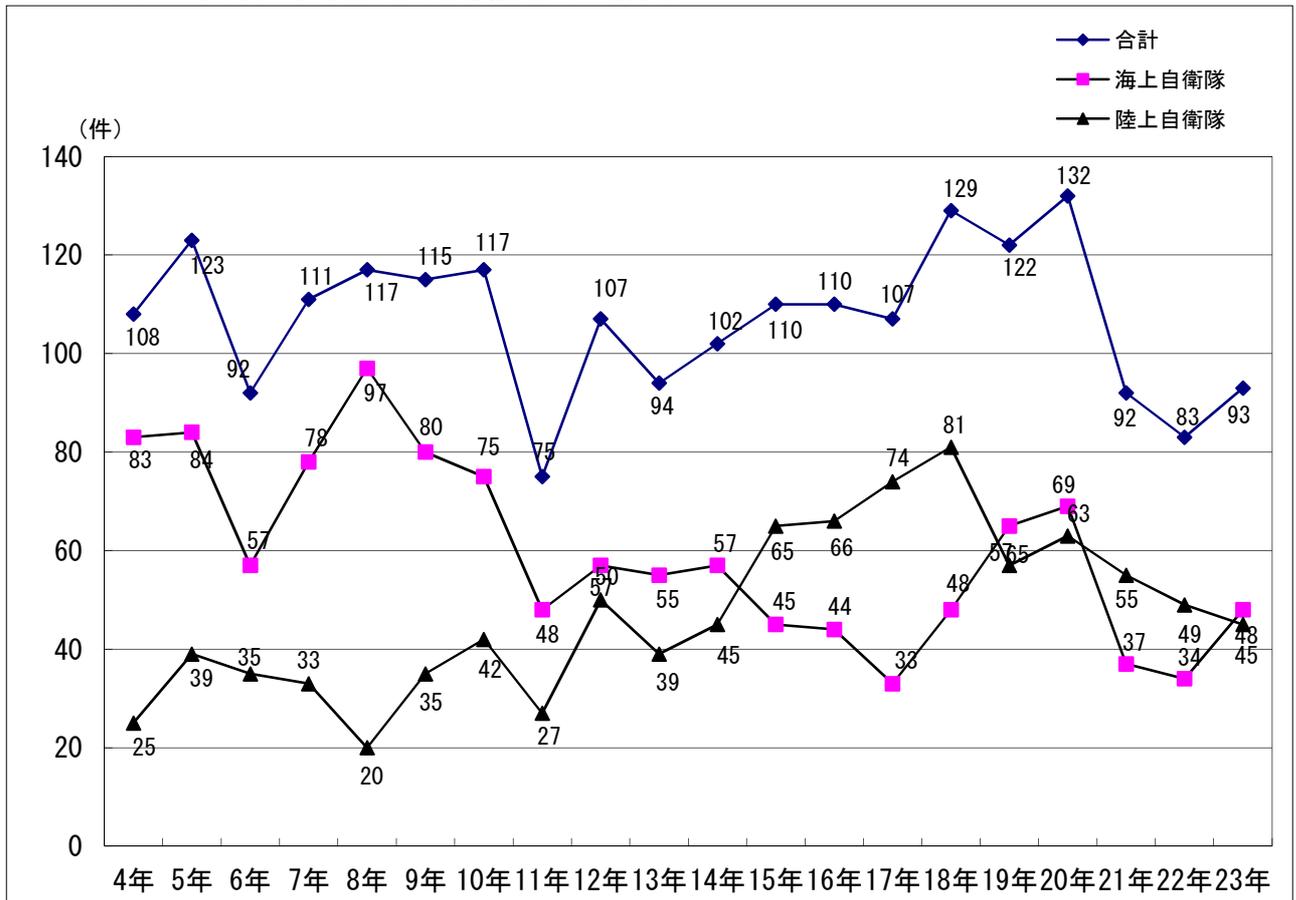
出動件数93件を郡別にみると、大島郡（奄美市を含む）が55件（全体の59.1%）で、次に熊毛郡（西之表市を含む）が25件（同26.9%）、鹿児島郡が8件（同8.6%）、薩摩川内市が5件（同5.4%）となっている。

（図-4及び表-23）

また、月別では、11月の12件が最も多く、時間帯別（派遣要請時間）では20時から22時までが20件で最も多くなっている。（表-24）

平成23年中の搬送人員を傷病別にみると、内臓疾患によるものが36人（全体の38.3%）で最も多く、次に産科・婦人科関係が22人（同23.4%）となっている。（表-25及び表-26）

図-3 平成4年以降の災害派遣（急患搬送）出動件数



（注）「海上自衛隊」には、教育航空集団を、「陸上自衛隊」には南西航空混成団をそれぞれ含んでいる。

図-4 平成4年以降の市・郡別災害派遣（急患搬送）の出動件数（その1）

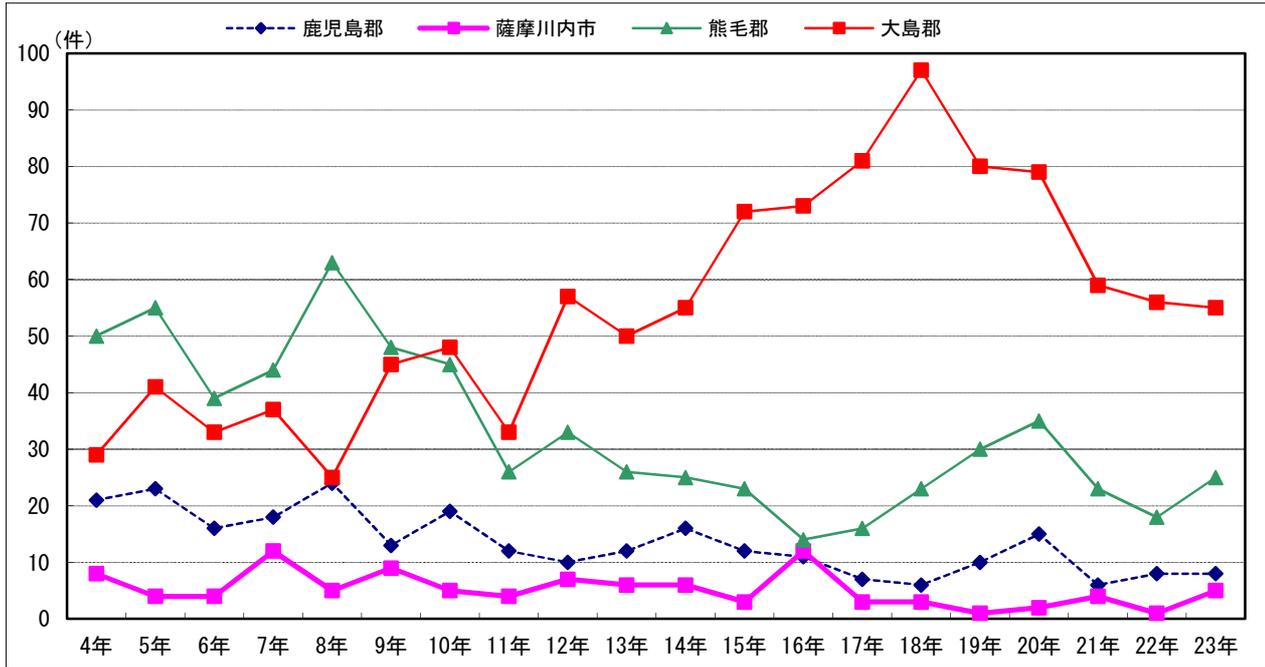


表-23 平成4年以降の市・郡別災害派遣（急患搬送）出動件数（その2）

（年中）

年	郡別	計	鹿児島郡	薩摩川内市	熊本郡	大島郡	計のうち不搬送件数
平成 4 年		108 (25)	21	8	50	29 (25)	鹿屋1件
5		123 (39)	23	4	55	41 (39)	鹿屋1件
6		92 (35)	16 (2)	4	39	33 (33)	沖縄1件
7		111 (33)	18	12	44	37 (33)	
8		117 (21)	24	5	63	25 (21)	
9		115 (35)	13	9	48	45 (35)	鹿屋1件
10		117 (42)	19	5	45	48 (42)	鹿屋1件
11		75 (27)	12	4	26	33 (27)	鹿屋1件
12		107 (50)	10	7	33	57 (50)	鹿屋2件
13		94 (39)	12	6	26	50 (39)	鹿屋2件
14		102 (45)	16	6	25	55 (45)	鹿屋2件
15		110 (65)	12	3	23	72 (65)	
16		110 (66)	11	12	14	73 (66)	
17		107 (74)	7	3	16	81 (74)	
18		129 (81)	6 (1)	3	23	97 (80)	鹿屋1件
19		122 (57)	11	1	30	80 (57)	鹿屋2件, 沖縄2件
20		132 (63)	16	2	35	79 (63)	鹿屋1件
21		92 (55)	6	4	23	59 (55)	
22		83 (49)	8 (1)	1	18	56 (48)	鹿屋1件, 沖縄2件
23		93 (45)	8	5	25	55 (45)	鹿屋1件, 沖縄1件
計		2,139 (946)	269 (4)	104	661	1105 (942)	沖縄分構成比
構成比率		100.0%	12.6%	4.9%	30.9%	51.7%	(44.2%)

- (注) 1 ()内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 便宜上、熊本郡には西之表市、大島郡には奄美市をそれぞれ含めている。
 3 平成7年、12年、14年、19年及び20年の鹿児島郡には、各年1件ずつ、離島外からの搬送を含む。

表-24 平成4年以降の月別及び時間帯別災害派遣（離島急患搬送）出動件数

区分		年別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
月別	1		9 (3)	12 (5)	10 (4)	11 (4)	8 (1)	9 (2)	10 (2)	5 (1)	12 (8)	8 (5)
	2		6 (3)	5	7 (1)	12 (8)	12 (4)	11 (4)	13 (5)	5 (2)	12 (6)	5 (3)
	3		12 (2)	9 (1)	6 (1)	6 (1)	7 (2)	8 (3)	11 (6)	13 (5)	4 (1)	8 (2)
	4		5 (2)	6 (1)	7 (2)	7 (1)	7 (2)	15 (9)	13 (4)	4 (3)	6 (3)	5 (2)
	5		10 (2)	13 (2)	7 (5)	10 (4)	9	8 (2)	8 (3)	9 (4)	9 (6)	6 (1)
	6		7	8 (3)	6 (3)	7	7 (1)	7 (1)	9 (7)	2	11 (6)	7 (5)
	7		7 (1)	7 (2)	11 (5)	8 (2)	13 (1)	7 (2)	11 (6)	11 (5)	7 (4)	6 (3)
	8		8 (1)	11 (1)	5 (2)	11 (4)	14 (3)	12 (2)	10 (1)	5	9 (4)	8 (2)
	9		10 (4)	17 (8)	12 (6)	10 (4)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	4 (2)	7 (1)	10 (4)
	10		14 (3)	13 (5)	8 (3)	15 (2)	10 (2)	14 (4)	10 (4)	3 (2)	12 (4)	9 (4)
	11		8 (2)	5 (2)	5	7 (2)	5 (1)	8 (1)	3 (1)	6	12 (5)	17 (4)
	12		12 (2)	17 (9)	8 (3)	7 (1)	16 (2)	13 (4)	15 (2)	8 (3)	6 (2)	5 (4)
計			108 (25)	123 (39)	92 (35)	111 (33)	117 (21)	115 (35)	117 (42)	75 (27)	107 (50)	94 (39)
時間帯別	0~2		3 (3)	2 (1)	6 (2)	2	6 (3)	3 (1)	2	4	5 (1)	2 (1)
	2~4		4 (1)	3 (2)	1	3 (2)	4	3	1 (1)		5 (1)	5 (3)
	4~6		3 (2)	2 (2)	1	2	2	5 (2)	4 (2)	1 (1)	10 (8)	6 (1)
	6~8		5	2 (1)	2	5 (2)	6	7 (3)	4 (3)	3	4 (2)	2 (2)
	8~10		9 (1)	13 (3)	10 (3)	8 (1)	11 (2)	7 (3)	11 (6)	8 (4)	11 (9)	6 (4)
	10~12		18 (5)	19 (4)	18 (7)	17 (4)	13 (2)	20 (9)	17 (7)	8 (7)	9 (6)	12 (6)
	12~14		22 (4)	20 (11)	15 (6)	17 (3)	13 (1)	11 (1)	20 (7)	8 (3)	4 (3)	8 (5)
	14~16		12 (3)	17 (4)	12 (8)	21 (5)	18 (2)	13 (2)	15 (6)	11 (3)	8 (4)	8 (3)
	16~18		11 (3)	14 (3)	6 (2)	9 (1)	10 (3)	13 (5)	14 (4)	12 (3)	14 (5)	16 (4)
	18~20		6	16 (5)	10 (2)	13 (8)	18 (6)	21 (6)	10 (3)	8 (4)	17 (3)	8 (4)
	20~22		8 (2)	8 (1)	3 (1)	9 (5)	5	8 (2)	14 (2)	8 (2)	10 (2)	9 (3)
22~24		7 (1)	7 (2)	8 (4)	5 (2)	11 (2)	4 (1)	5 (1)	4	10 (6)	12 (3)	

(注) 1 ()内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 「時間帯」は、自衛隊への派遣要請時間である。

(年中)

14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	H4~23年
5 (2)	5 (2)	10 (6)	9 (5)	11 (5)	8 (4)	21 (11)	12 (5)	7 (4)	11 (3)	201 (87)
8 (5)	4 (4)	15 (10)	8 (8)	11 (8)	8 (3)	9 (4)	8 (8)	9 (7)	4 (4)	177 (100)
8 (4)	13 (5)	10 (4)	10 (7)	9 (7)	16 (10)	15 (6)	4 (4)	3 (2)	9 (4)	189 (79)
2 (1)	8 (5)	9 (5)	10 (7)	11 (7)	9 (6)	9 (3)	6 (4)	7 (3)	5 (1)	156 (73)
11 (3)	11 (9)	7 (6)	11 (7)	7 (6)	4 (1)	9 (6)	9 (5)	5 (4)	5 (4)	174 (81)
5 (4)	12 (5)	4 (3)	8 (6)	11 (5)	10 (4)	5 (3)	7 (6)	6 (4)	8 (1)	154 (72)
13 (7)	9 (5)	7 (4)	7 (6)	11 (7)	2 (2)	7 (4)	6 (5)	5 (3)	7 (6)	168 (83)
7 (4)	5 (3)	4 (2)	5 (5)	13 (7)	11 (6)	10 (5)	10 (5)	6 (4)	6 (2)	178 (65)
14 (3)	8 (7)	15 (11)	8 (5)	8 (4)	7 (3)	4 (2)	8 (3)	5 (4)	9 (5)	182 (84)
13 (5)	13 (5)	10 (7)	13 (10)	6 (5)	21 (8)	12 (4)	9 (5)	11 (1)	10 (7)	235 (94)
8 (2)	11 (7)	11 (6)	8 (4)	17 (9)	13 (4)	18 (8)	6 (1)	10 (4)	12 (4)	207 (71)
8 (5)	11 (8)	8 (2)	10 (4)	14 (11)	13 (6)	13 (7)	7 (4)	9 (9)	7 (4)	212 (96)
102 (45)	110 (65)	110 (66)	107 (74)	129 (81)	122 (57)	132 (63)	92 (55)	83 (49)	93 ###	2233 (985)
6	10 (6)	6 (3)	3 (3)	6 (3)	2 (1)	6 (1)	9 (3)	7 (6)	5	97 (39)
9 (4)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	2 (1)	3	5 (2)	70 (29)
3 (1)	2	5 (4)	4 (2)	5 (3)	5 (2)	3 (2)	3 (1)	1 (1)	1	74 (35)
3 (3)	3 (2)	6 (3)	10 (8)	5 (3)	7 (4)	3	2 (1)	1	1 (1)	83 (40)
11 (6)	19 (16)	13 (9)	7 (5)	11 (5)	13 (4)	13 (4)	4 (2)	9 (6)	9 (4)	209 (101)
12 (6)	21 (12)	21 (15)	14 (9)	21 (14)	19 (11)	12 (6)	13 (11)	9 (4)	10 (8)	315 (159)
8 (4)	9 (7)	11 (6)	11 (10)	19 (13)	11 (7)	15 (11)	11 (7)	12 (6)	6 (2)	259 (122)
8 (5)	6 (6)	12 (10)	8 (5)	5 (3)	10 (5)	18 (10)	9 (7)	11 (8)	5 (2)	235 (104)
12 (4)	12 (6)	9 (3)	14 (9)	18 (15)	10 (3)	11 (8)	11 (5)	7 (5)	11 (8)	250 (103)
16 (8)	5 (1)	11 (7)	9 (6)	13 (7)	21 (5)	11 (4)	10 (5)	5 (2)	14 (3)	250 (93)
9 (4)	14 (5)	9 (3)	14 (8)	11 (8)	13 (8)	13 (5)	7 (5)	10 (6)	20 ###	211 (87)
5	7 (3)	5 (2)	9 (7)	12 (5)	9 (6)	23 (10)	11 (7)	8 (5)	6 (3)	180 (73)

表-25 平成23年中の市町村別搬送人員傷病別内訳

市町村別		傷病別 合 計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
			頭部	その他	頭部	その他						
鹿児島郡	三島村	3					2				1	
	十島村	5					2				1	2
薩摩川内市		5							1		4	
熊毛郡 (西之表市含)	西之表市	6					1		4			1
	中種子町	2							1		1	
	南種子町	5		1			1		2			1
	屋久島町	12					6				5	1
大島郡 (奄美市含)	奄美市	7 (1)							5		1	1 (1)
	龍郷町											
	大和村											
	宇検村											
	瀬戸内町	1							1			
	喜界町	17 (17)					6 (6)				10 (10)	1 (1)
	徳之島町	13 (13)					2 (2)		1 (1)		6 (6)	4 (4)
	天城町	3 (2)							3 (2)			
	伊仙町	5 (4)					1 (1)		2 (2)		1 (1)	1
	和泊町	4 (4)									4 (4)	
	知名町	2 (2)									2 (2)	
与論町	4 (3)						1 (1)	2 (1)			1 (1)	
計		94 (46)		1			21 (9)	1 (1)	22 (6)		36 (23)	13 (7)

(注1) ()内は、沖縄自衛隊搬送人員の内書きである。

(注2) 不搬送2名の傷病含む。2名同時搬送1回あり。

表-26 平成4年以降の離島急患搬送人員及び傷病別内訳

(年中)

年別 傷病別	計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
		頭部	その他	頭部	その他						
4	109 (25)	4	1		7	33 (4)	7 (1)	2 (2)	7	41 (15)	7 (3)
5	125 (41)	1 (1)				54 (13)	8 (2)	10 (5)	5 (1)	30 (15)	17 (4)
6	93 (33)	3 (2)	2 (1)		3	26 (12)	7 (4)	10 (3)	1	29 (9)	12 (2)
7	115 (33)	1 (1)	3	1	4	35 (12)	10 (5)	10 (5)		49 (10)	2
8	126 (25)	5 (1)	5 (1)		5 (2)	28 (4)	14 (2)	5 (2)	2 (2)	60 (11)	2
9	116 (37)	1 (1)	2 (1)	4 (1)	5 (1)	32 (10)	3 (1)	3 (1)	11 (4)	51 (16)	4 (1)
10	117 (43)	1 (1)	3 (2)		3	33 (11)	2 (1)	10 (6)	6 (1)	52 (18)	7 (3)
11	75 (28)	2	1 (1)	1	1	13 (6)	5 (2)	6 (2)	4	37 (15)	5 (2)
12	106 (51)	3 (2)	1 (1)		2	30 (18)	3 (3)	12 (6)	7 (3)	45 (18)	3
13	92 (39)	1 (1)	2	2 (1)	5 (1)	20 (9)	2 (2)	4 (3)	5 (2)	41 (16)	10 (4)
14	102 (46)	1 (1)	4 (3)		4 (2)	15 (5)	7 (3)	5 (4)	13 (8)	48 (18)	5 (2)
15	110 (66)	2 (1)	2 (1)		4 (1)	30 (15)	3 (1)	12 (11)	10 (9)	38 (22)	9 (5)
16	111 (66)	1 (1)	1 (1)		1	23 (11)	2 (1)	13 (8)	20 (16)	47 (28)	3
17	103 (71)		1			21 (16)	4 (2)	21 (15)	5 (5)	46 (30)	5 (3)
18	111 (66)		4 (4)	1 (1)	2 (1)	24 (9)		29 (20)	11 (7)	51 (35)	4 (2)
19	117 (55)		1 (1)		4 (2)	19 (11)		21 (11)	15 (7)	47 (20)	10 (3)
20	131 (64)	1	1		3 (1)	29 (17)	2 (1)	23 (9)	18 (11)	45 (21)	9 (4)
21	93 (56)	1 (1)	2	2 (1)	1	19 (11)		16 (10)	10 (6)	37 (25)	5 (2)
22	83 (49)	2 (1)	1 (1)			17 (9)	4 (3)	14 (7)	2 (2)	30 (18)	13 (8)
23	94 (46)		1			21 (9)	1 (1)	22 (6)		36 (23)	13 (7)

(注) 本表は、鹿屋の海上自衛隊第1航空群及び沖縄の陸上自衛隊第15旅団(内書き)が搬送した人員である。

第4 消防・防災ヘリコプターの活動

1 消防・防災ヘリコプターの導入

県では、大規模災害時における広範な消防防災活動を行うほか、急患搬送、災害危険箇所の調査点検などに幅広く活用するとともに、災害時の被害状況をよりの確かつ迅速に把握するため、消防・防災ヘリコプター「さつま」を導入し、平成10年4月1日、運航拠点となる枕崎空港に防災航空センターを設置するとともに枕崎、指宿、南さつまの3消防組合・本部から派遣された消防職員6名で編成する鹿児島県防災航空隊を発足させた。

なお、平成21年10月1日から、ドクターヘリ導入までの間、消防・防災ヘリの積極的活用として、本土内の救急搬送を開始した。

2 消防・防災ヘリコプターの活動内容

消防・防災ヘリコプターは以下の活動を行うこととしている。

- (1) 災害応急対策活動
 - ア 被災状況等の調査及び情報収集活動
 - イ 食料、衣料その他の生活必需品及び復旧資材等の救援物資、人員等の搬送
 - ウ 災害に関する情報、警報等の伝達等広報宣伝活動
 - エ その他、災害応急対策活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (2) 救急活動
 - ア 山村、離島等からの救急患者の搬送
 - イ 傷病者発生地への医師搬送及び医療機材等の搬送
 - ウ 高度医療機関のない地域からの傷病者の病院搬送
 - エ 消防・防災ヘリの積極的活用としての本土内搬送
 - オ その他、救急活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (3) 火災防御活動
 - ア 林野火災等における空中からの消火活動
 - イ 被災状況調査及び情報収集活動
 - ウ 消防隊員、消防資機材等の搬送
 - エ その他、火災防御活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (4) 救助活動
 - ア 河川、海等での水難事故、山岳遭難事故等における捜索または救助
 - イ 高層建築物火災における救助
 - ウ 山崩れ等の被害により、陸上から接近できない被災者等の救助
 - エ 高速道路及び自動車専用道路での事故救助
 - オ その他、救助活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (5) 広域航空消防防災応援活動
 - ア 県が締結している他県との相互応援協定等による相互応援
- (6) 災害予防活動
- (7) 自隊訓練のための活動
- (8) 各種防災訓練等への参加等
- (9) その他知事が必要と認める活動

表-27 消防・防災ヘリコプター「さつま」の諸元・性能

型 式	ベル式412EP型
定 員	13名（増槽タンク非装着時15名）
最 大 全 装 備 重 量	5,398kg
空 虚 重 量	3,820kg
有 効 搭 載 量	1,578kg
航 続 距 離	720km
最 大 巡 航 速 度	259km/h
限 界 高 度	6,096m
全 長	17.1m
全 幅	2.9m
全 高	4.6m
消 火 用 水 積 載 量	1,400ℓ（ドロップタンク）

表-28 消防・防災ヘリコプターの運航状況

(平成23年)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	総計		
緊急運航	災害応急対策活動	件数	2	3	1										6	89件 139時間55分	
		時間	2:40	3:40	2:35										8:55		
	救急活動	件数	5	5	5	5	9	3	6	11	3	1		3	56		
		時間	11:30	6:45	6:40	6:00	11:45	4:55	7:30	12:05	2:25	0:15		3:15	73:05		
	火災防 御活動	件数	1												1		
		時間	2:00												2:00		
	救助活動	件数	1				2	2	1	3	4	1			14		
		時間	1:00				1:35	4:00	1:50	5:30	9:55	0:25			24:15		
	広域応援	件数			12										12		
		時間			31:40										31:40		
	災害予防活動	件数	1												1		1件 1時間20分
		時間	1:20												1:20		
合同訓練	他県広域関係	件数												0	30件 35時間45分		
		時間												0:00			
	県市町村関係	件数	3		1		4		2	2	2	4		1		19	
		時間	2:35		1:05		3:45		2:30	6:50	2:35	4:45		1:15		25:20	
	合同訓練 事前訓練	件数		1			4	1		2	2			1		11	
		時間		1:20			3:40	0:40		1:45	2:10			0:50		10:25	
自隊訓練	件数	5	6	15	7	7	5	6		10	7	5	11	84	84件 115時間15分		
	時間	5:30	8:30	20:10	9:35	9:25	7:20	8:15		14:55	9:35	6:50	15:10	115:15			
その他	件数	2		1		1	1	3	1	3	2	8		22	22件 34時間15分		
	時間	3:35		0:40		0:45	0:40	3:00	6:35	10:25	2:45	5:50		34:15			
合計	件数	20	15	35	12	27	12	18	19	24	15	13	16	226	226件 326時間30分		
	時間	30:10	20:15	62:50	15:35	30:55	17:35	23:05	32:45	42:25	17:45	12:40	20:30	326:30			

表-29 消防・防災ヘリコプターの活動状況（H23年中）

(1) 災害応急対策活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	1/27	ア	霧島市	1:30
2	1	1/28	ア	霧島市	1:10
3	1	2/1	ア	霧島市	1:30
4	1	2/4	ア	霧島市	1:15
5	1	2/7	ア	鹿児島市	0:55
6	1	3/11	ウ	熊毛地区	2:35
6件 6回 8時間55分					

(2) 救急活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	搬送人員	時 間
1	1	1/4	ウ	西之表市	1	1:25
2	1	1/10	オ	南大隅町	1	0:30
3	1	1/20	ウ	鹿児島市	1	7:20
4	1	1/25	エ	鹿屋市	1	0:45
5	1	1/31	ウ	南種子町	1	1:30
6	1	2/10	ウ	南種子町	1	1:35
7	1	2/12	ウ	屋久島町	1	1:40
8	1	2/20	ウ	屋久島町	1	1:35
9	1	2/24	ウ	中種子町	0	0:50
10	1	2/25	ア	薩摩川内市(下甑島)	1	1:05
11	1	3/3	ウ	西之表市	1	1:20
12	1	3/4	ウ	西之表市	1	1:20
13	1	3/8	ウ	西之表市	1	1:25
14	1	3/23	ア	薩摩川内市(下甑島)	1	1:25
15	1	3/29	ア	三島村	1	1:10
16	1	4/20	ウ	西之表市	1	1:15
17	1	4/21	ウ	西之表市	1	1:20
18	1	4/22	ア	十島村	1	2:15
19	1	4/30	イ	出水市	2	0:30
20	1	4/30	エ	出水市	1	0:40
21	1	5/3	ウ	西之表市	1	1:15
22	1	5/4	オ	屋久島町	1	0:40
23	1	5/4	ア	三島村	1	1:20
24	1	5/5	ウ	屋久島町	1	1:30
25	1	5/5	ウ	屋久島町	1	1:30
26	1	5/6	ウ	屋久島町	1	1:40
27	1	5/12	エ	鹿屋市	1	1:15
28	1	5/18	ウ	屋久島町	1	1:50
29	1	5/23	オ	屋久島町	1	0:45
30	1	6/15	ウ	屋久島町	1	1:45
31	1	6/27	ウ	西之表市	1	1:40
32	1	6/29	ウ	西之表市	1	1:30
33	1	7/9	エ	鹿屋市	1	0:40
34	1	7/12	エ	鹿屋市	1	0:50
35	1	7/13	ア	十島村	1	2:50
36	1	7/16	エ	指宿市	1	0:40
37	1	7/25	エ	さつま町	1	0:50
38	1	7/26	エ	鹿屋市	1	1:40
39	1	8/8	エ	鹿屋市	1	0:50
40	1	8/9	エ	鹿屋市	1	0:40
41	1	8/9	イ	鹿屋市	2	0:25
42	1	8/9	エ	鹿屋市	1	0:25
43	1	8/10	ウ	屋久島町	1	1:20
44	1	8/13	ア	十島村	1	3:05
45	1	8/15	エ	さつま町	1	1:10
46	1	8/20	ウ	西之表市	1	1:15
47	1	8/27	エ	指宿市	1	0:40
48	1	8/29	ア	三島村	1	1:10
49	1	8/31	ア	薩摩川内市(下甑島)	1	1:05
50	1	9/23	ウ	西之表市	1	1:05
51	1	9/24	オ	屋久島町	1	0:30
52	1	9/28	エ	鹿屋市	1	0:50
53	1	10/9	オ	指宿市	1	0:15
54	1	12/12	ア	薩摩川内市(下甑島)	1	1:05
55	1	12/21	エ	鹿屋市	1	0:35
56	1	12/24	ウ	屋久島町	1	1:35
56件 56回 73時間05分						

(3) 火災防衛活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	1/31	ア	曾於市(山林火災)	2:00
1件 1回 2時間00分					

(4) 救助活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	1/10	ア	南大隅町(山岳救助)	1:00
2	1	5/4	ア	屋久島町(山岳救助)	0:50
3	1	5/23	ア	屋久島町(山岳救助)	0:45
4	1	6/12	ア	薩摩川内市(水難捜索)	2:00
5	1	6/13	ア	薩摩川内市(水難捜索)	2:00
6	1	7/27	ア	志布志市(水難捜索)	1:50
7	1	8/18	ア	屋久島町(山岳救助)	1:25
8	1	8/18	ア	肝付町(水難捜索)	2:05
9	1	8/19	ア	肝付町(水難捜索)	2:00
10	1	9/3	ア	南種子町(水難捜索)	4:35
11	1	9/4	ア	南種子町(水難捜索)	2:15
12	1	9/24	ア	屋久島町(山岳捜索)	2:10
13	1	9/24	ア	屋久島町(山岳救助)	0:55
14	1	10/9	ア	指宿市(山岳救助)	0:25
14件 14回 24時間15分					

(5) 広域航空消防防災応援活動

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	3/12	ア	福島県(派遣出動)	6:20
2	1	3/12	ア	福島県(救急活動)	0:45
3	1	3/13	ア	福島県(情報収集)	1:35
4	1	3/13	ア	福島県(捜索・救助)	1:30
5	1	3/13	ア	福島県(捜索・救助)	0:05
6	1	3/14	ア	宮城県(捜索活動)	2:40
7	1	3/15	ア	和歌山県(移動)	4:05
8	1	3/16	ア	福島県(資機材搬送)	3:55
9	1	3/17	ア	福島県(救急活動)	2:45
10	1	3/17	ア	福島県(救急活動)	1:05
11	1	3/18	ア	和歌山県(移動)	3:40
12	1	3/19	ア	鹿児島県(帰投)	3:15
12件 12回 31時間40分					

(6) 各種防火訓練等への参加等

件数	回数	月 日	訓練内容	訓練名及び実施場所	時 間
1	1	1/9	救助	枕崎市消防出初式	0:40
2	1	1/9	救助	鹿児島市消防出初式	0:45
3	1	1/12	情報収集	桜島火山爆発総合防災訓練	1:10
4	1	3/3	火災防衛	鹿児島市山林火災訓練	1:05
5	1	5/13	情報収集	鹿児島市大規模災害(火山)想定訓練	1:20
6	1	5/22	救助	垂水市総合防災訓練	0:40
7	1	5/24	救助	東串良町地域総合防災訓練	0:40
8	1	5/26	救助・搬送	鹿児島市総合防災訓練	1:05
9	1	7/1	情報収集	鹿児島市国民安全の日消防演習	1:10
10	1	7/10	情報収集・救助	鹿屋市総合防災訓練	1:20
11	1	8/23	搬送・情報収集	鹿児島市大規模災害想定派遣訓練	6:10
12	1	8/28	救助	日置市総合防災訓練	0:40
13	1	9/4	救助	曾於地区総合防災訓練	1:10
14	1	9/22	救急	さつま町集団救急事故訓練	1:25
15	1	10/6	救助	県石油コンビナート等総合防災訓練(串木野市)	1:10
16	1	10/14	搬送・情報収集	離島火山防災訓練	1:25
17	1	10/24	救助	県消防学校救助科展示	1:10
18	1	10/26	情報収集	県石油コンビナート等総合防災訓練(志布志市)	1:00
19	1	12/11	情報収集	志布志市津波避難合同訓練	1:15
19件 19回 25時間20分					